

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 3 週（ 2026/1/12~1/18 ）感染症発生動向調査速報値（ 2026/1/21 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **52** 人、定点医療機関当たり **1.11** 人

※急性呼吸器感染症定点（旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科18定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

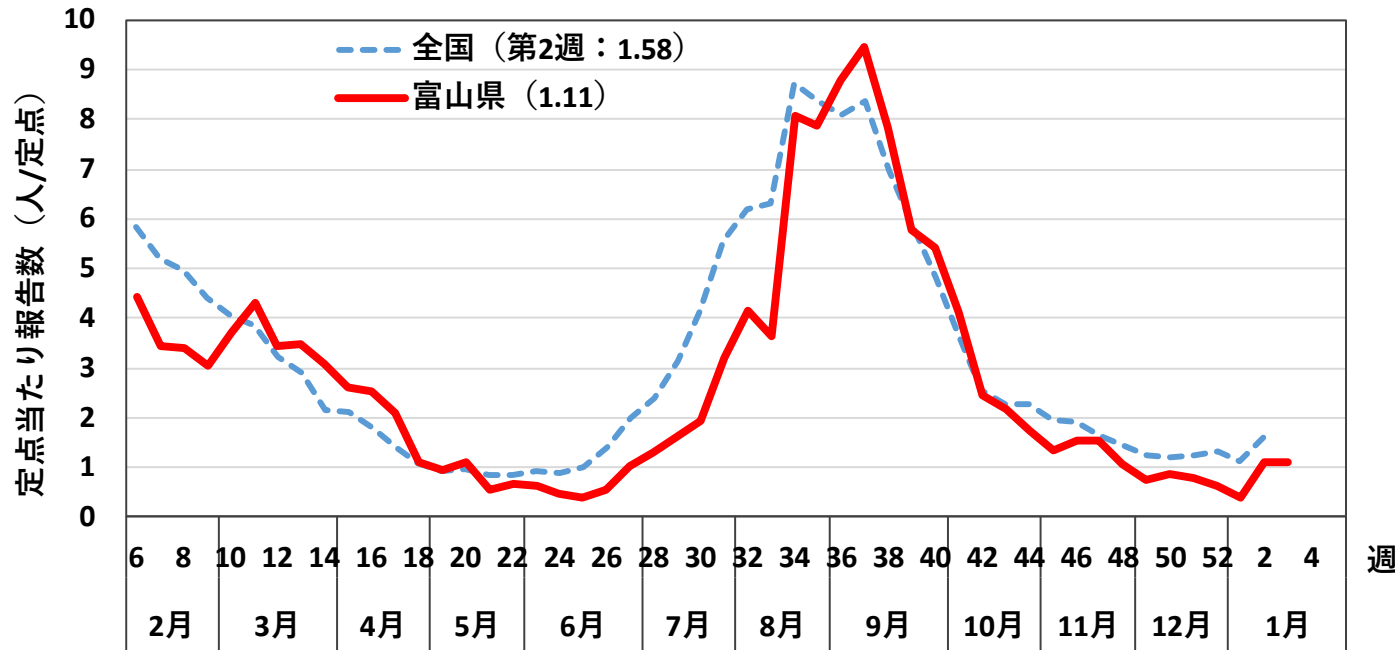
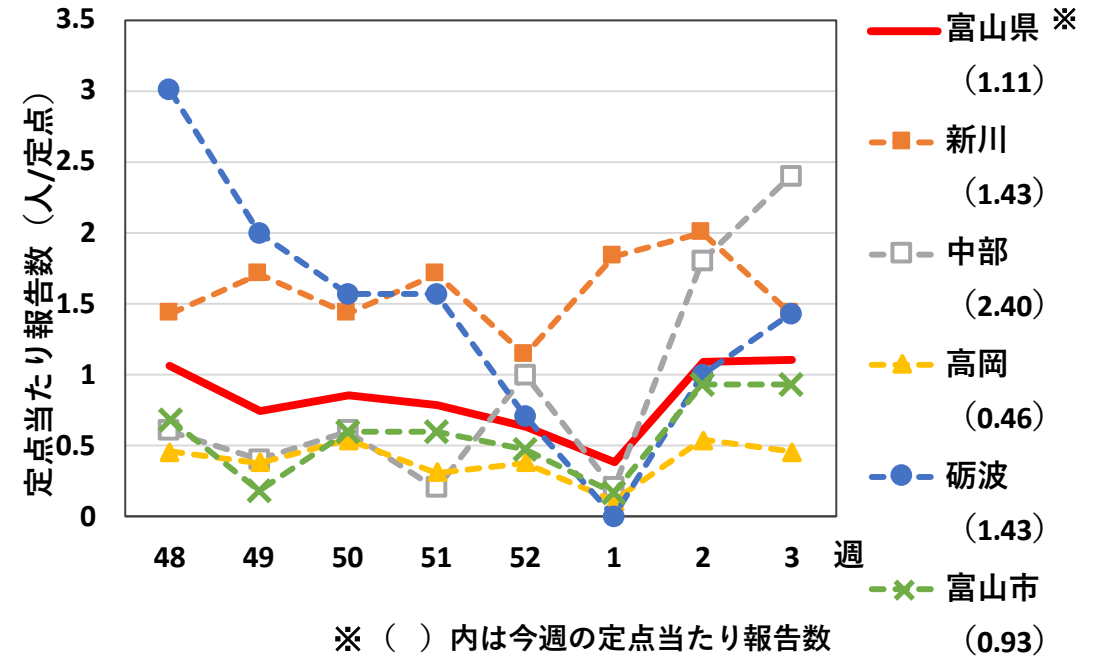


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 富山県の患者報告数は今週1.11人/定点となり、先週（1.09人/定点）から横ばいであった（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、中部管内、砺波管内で増加した一方、その他の管内では減少または横ばいであった（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

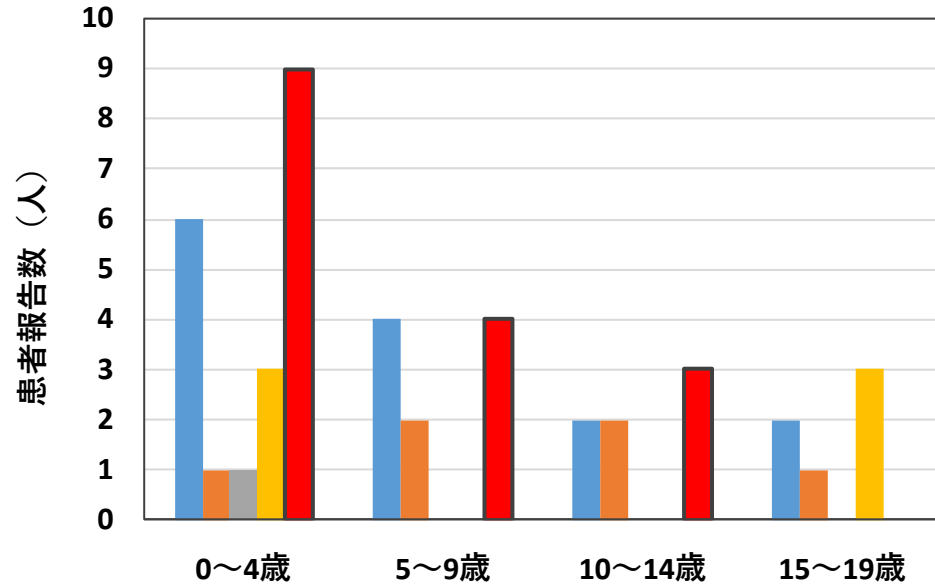
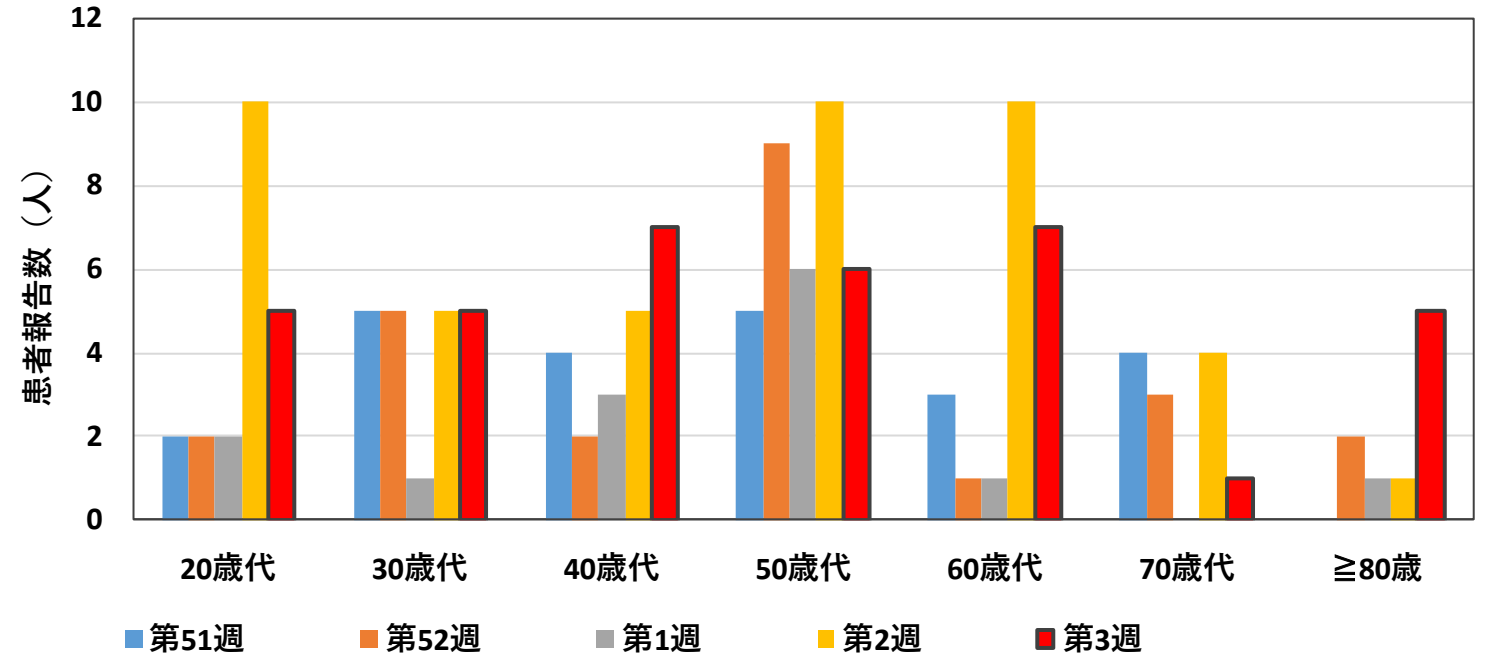


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 0～14歳、40歳代、80歳以上で先週から増加した一方、その他の年代では先週から減少または横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

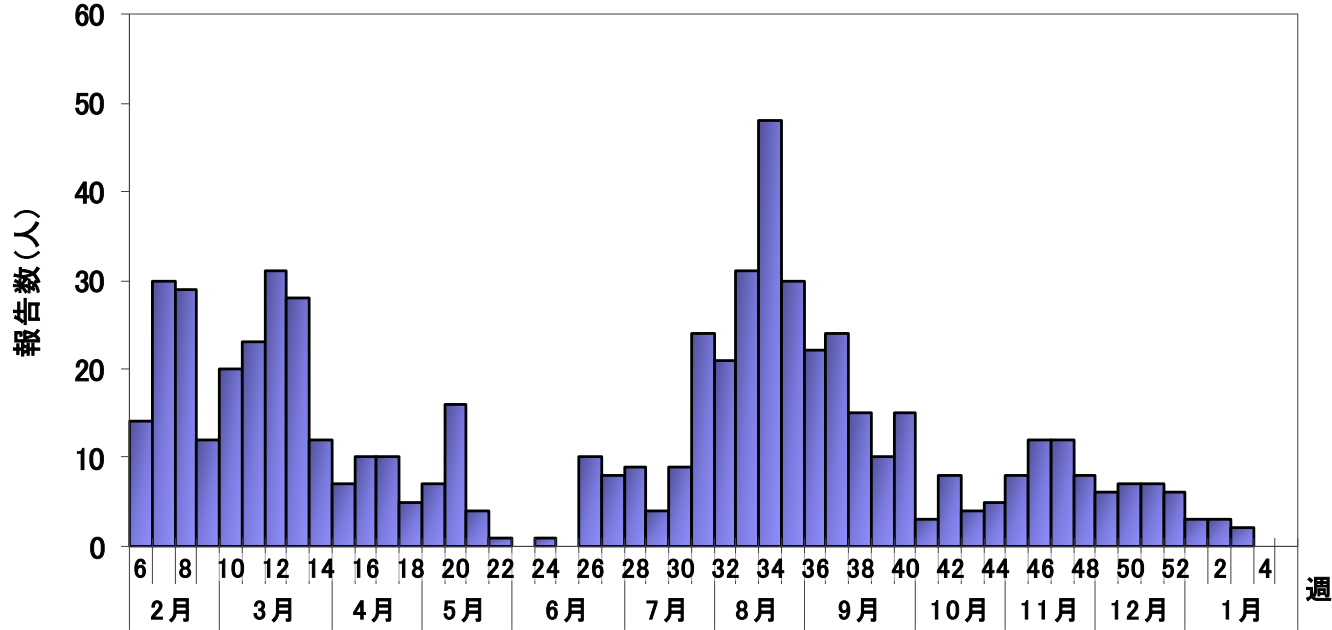
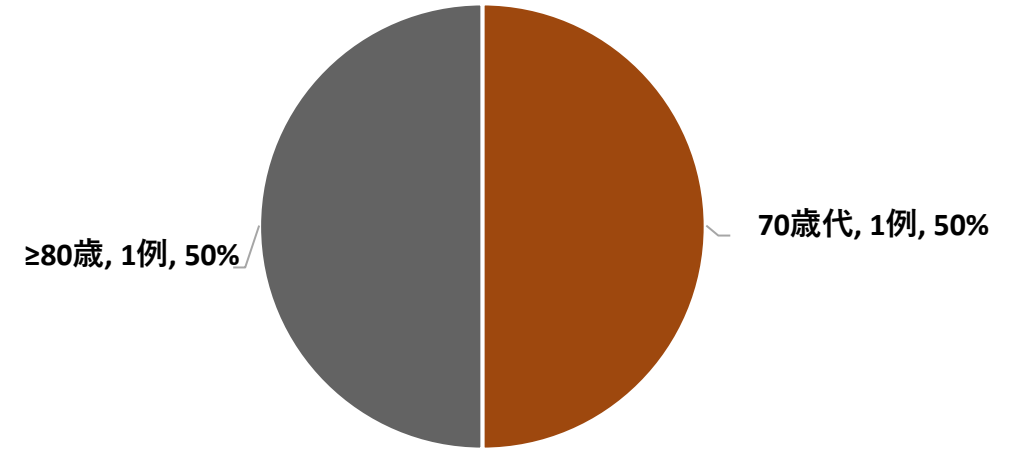


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第3週、2例）



※割合(%)は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第3週に2例の入院報告があり、先週（3例）から減少した（図4）。
- 入院患者の年代は、70歳代、80歳以上が各1例であり、全例70歳以上であった（図5）。
- 県内のCOVID-19の患者報告数は、2025年第38週以降、概ね減少傾向が続いていたが、今週は横ばいとなった。2020年以来、毎年冬季に報告数が増加していたため、引き続き今後の患者発生動向を注視したい。